

## 令和2年度 事業計画（変更）

### I 基本方針

南砺幸せ未来基金は平成31年2月に一般財団法人として設立され、市民の皆さんのまちづくり活動を支援することを目的としています。

また令和元年12月には公益認定を受け支援活動を加速化していく予定としております。

南砺市の地域課題を豊かで特色ある自然資本、人的資本、社会関係資本や人工資本を有機的に活用し解決を図ります。未来を拓く若者の就業や起業、住民主体の小規模多機能自治などに資金的支援を行い、地域の活性化及び循環共生型の社会づくりに資することを目指しています。

未来の南砺を創るための仕組みとして基金の活用を通し、人と人をつなぐことで、支え合う地域の力を育てます。

市民からの寄付金や遺贈金などを資金として調達し、次世代人材やソーシャルビジネス、コミュニティビジネスなどの活動に対して助成、融資などで支援していきます。

- ① 暮らしを支える事業
- ② 森里川海のつながり保全事業
- ③ 生業・起業・ものづくりを支える事業
- ④ 地域の食と農業を支える事業
- ⑤ 子ども・若者を支える事業
- ⑥ 再生可能エネルギーを支える事業
- ⑦ 地域の歴史、土徳文化を支える事業

### II 重点事業

- 1 基金の普及啓発と運用資金の調達
- 2 基金運営のノウハウの蓄積
- 3 事務局体制の整備と充実
- 4 基金活用事業の募集と支援の研究

### III 実施計画

- 1 基金の普及啓発と運用資金の調達  
安定した基金運営を行うために基金の設立趣旨や運用目的などを広く普及啓発を行うことで市民の理解度を高めるとともに運用資金となる寄付

金や遺贈金の調達を行う。さらに休眠預金活用の資金分配団体となるべく応募を行う。

- (1) 寄付者への訪問による基金運用の説明
- (2) 地域づくり協議会やまちづくり活動団体への説明
- (3) 商工会青年部やとなみ青年会議所などとの連携
- (4) 休眠預金活用の資金分配団体への応募
- (5) ホームページによる基金活動の情報発信
- (6) 市広報、チラシなどによる PR 活動

## 2 基金運営のノウハウの蓄積

基金運営のための組織や財務について調査研究し、適正な運用を図る。

また、融資や投資など基金運用における手法を研修することで新たな基金運用に備える。

- (1) 組織経営と財務運用の実施
- (2) 融資、投資、クラウドファンディング、地域通貨、休眠預金、寄附付き商品などの検討
- (3) 市民まちづくり事業の情報収集、事業内容の発信
- (4) 金融機関との投融資研究会の実施
- (5) ソーシャル・コミュニティビジネス勉強会の実施
- (6) ふるさと納税との連携

## 3 事務局体制の整備と充実

基金事務局の事務事業を細分化し業務分担することでの的確な基金運営を行う。なんと未来支援センターとの連携により資金、ノウハウ、ネットワークでの支援体制を整える。

- (1) 事務事業分担の整備
- (2) 資金管理、支援事業、組織体制の整備
- (3) なんと未来支援センターとの連携

## 4 基金活用事業の募集と支援の研究

基金運用に伴う支援事業の募集を行うことでまちづくり事業を支援し、地域課題の解決に寄与していく。また市民活動の情報を蓄積することで基金事業活用集の作成を進める。

- (1) 基金支援事業の募集
- (2) 支援事業選考委員会の設置と審査
- (3) 支援と実施内容、実績管理
- (4) 休眠預金を活用した支援